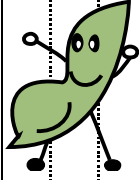


菜豆

	2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月				
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下		
生育期節													出 芽												成 熟 (金時)	成 熟 (幸亡)			
作業体系													播種												収穫	収穫			
かん水の目安																													
かん水に適した 土壌水分																													

私は、最初がカンジン！
7月下旬まで干ばつストレスになると子実重に影響しちゃう。

重点期



かん水期

危険期



8月からはあまり水はほしくないなあ。

作物の生育が停滞する恐れのある水分状態



十分な降雨やかん水の翌日の水分状態

かん水のねらい

☆養分吸収と初期生育を促進し、茎葉の生育を確保します。

用語解説のページへ

かん水のポイント

☆土壌タイプによっては、降雨後など土壌の構造が乾燥していく過程で変化し、土壌表面が固くなった場合に、出芽が物理的に抑制されるので、5mm程度のかん水を行って出芽を促進します。

失敗しないためのアドバイス

- ☆8月以降は菜豆の水分要求量は少なくなるので、基本的にかん水は行いません。
- ☆湿害に弱いので、かん水のし過ぎに特に注意しましょう。

用語解説

【かん水期の目安】

かん水期間の目安として、かん水期、重点期、注意期、危険期に区分して表示しました。

- ” **かん水期** ” . . . 対象とする作物の生育ステージのなかで、水分不足となったときにかん水が必要な時期を表します。
- ” **重点期** ” . . . 水分不足時に特にかん水を必要とする期間になります。
- ” **注意期** ” . . . 水分不足であっても、かん水することで病害等の発生や品質の低下なども考慮しなければならない期間です。
- ” **危険期** ” . . . 水分不足であっても、かん水による効果はほとんど得られず、病害や品質低下といった危険性が大きくなる期間です。

【かん水に適した土壌水分】

かん水によって調整する土壌水分の水分域として、” pF値 ” を表示してあります。

pF1.5～1.8は、十分な降雨やかん水の翌日の水分状態に相当します。pF3.0は、ほ場の表面が乾いて白っぽくなる状態で、作物の生育が停滞する恐れのある水分状態に相当します。

作物の生育期節によって適切な水分域は異なりますが、適切な水分域のpF値で上限値となった場合にかん水を開始します。生育の初期や野菜作などは、作物の特性から指標pF値が低くなり、”カラカラ”に乾く前にかん水することになります。



- ” **pF値** ” . . . 土壌水分状態を表すには” pF [ピーエフ] ” という単位があります。これは、土粒子と水とが結びついている力を数値によって表したものです。この” pF ” の値は、土壌水分計などで測定することができます。” pF ” の値が大きいほど乾燥しており、作物が根から水分を吸収するのに大きな力が必要になることを意味します。

[かん水適期のページへ](#)